

【田地売券】
でんちうりけん

売渡申永地之事

合壹段者 字ヲウミト

四至傍余 東ハ限井溝繩手、西ハ限田ヲ、
南ハ限田、北ハ限田ヲ、

年貢者十合ニ九斗六升代也、此内ヨリ本役者、官倉へ十合升ニ
壹斗四升三合、加口反米以行也、公事錢百文有之、此外少公事
物有之、右、彼下地ハ、雖為橋本瑞応庵領、年々本役諸
公事等依無沙伏(汰)、為本所可被落召之由候間、現錢於
式貫伍百文請取申候て、永代宇治之堀与次郎殿(江)
所売渡申実正明白也、万一於彼下地有違乱妨輩者、
為上可被処盗人之罪科者、本文書等事ハ、
一乱ニ嵯峨ニて引失候間不進候、於已後我々之
弟子身類等兎角之事申候共、此上ハ不可有御承引
候、仍為後日証状如件、

明応九年庚申(二五〇〇)

十二月廿三日宇治橋本瑞応庵周迦(花押)

(貼紙・朱筆)

「一乱ニ

嵯峨にて

引失候云々、」